

向陽だより

☆☆☆ チャレンジ目標 ☆☆☆
 「レベルアップ話す力聴く力」
 「ぽかぽかあいさつ・ふわふわ言葉」
 「正しい姿勢 ゲーピタピン」



「ふるさと『向陽』を心のよりどころに！」

令和4年も残りわずかとなりました。2学期は、宿泊学習、人権教育参観日、アートフェスティバル in 向陽、ゆもと苑との交流会、持久走大会と、コロナ禍で細心の注意を払いつつも恒例の行事を無事に実施することができました。これもひとえに保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力のおかげと感謝申し上げます。

さて、その中で、今年も地域に密着した学習がすべての学年で実施できたことを大変うれしく思っています。地域の方に手伝っていただきながら畑づくりや野菜の栽培活動に取り組んだ1・2年生。今年は3年ぶりに「ゆもと苑」の方との交流会も実施することができました。竹林体験やアユの放流、市内巡りなどを通して地域学習を広げていった3・4年生。向陽メモリアルプロジェクトと題し、「音信川うたあかり」を盛り上げるためのイベントを地域の方と一緒に考えた5・6年生。子どもたちは、地域の「人・もの・こと・自然」と直接関わることで、地域のことをもっと「知りたい」、自分たちの思いをもっと「広げたい」、そして、地域と「つながりたい」という思いを強くもつことができました。

地域の方は、向陽小の子どもたちの学びと育ちをいつも温かく見守り、健全な育成を願っておられます。その期待に応えるためにも、子どもが社会人となっても、ふるさと「向陽」を心のよりどころとして、たくましく生きていけるような教育活動に取り組んでいくことが必要です。そのためには、自分たちの学びがふるさとを愛する学習として、地域に広がり、地域の人々の喜びや活力につながっているのだという自覚や自信につなげていき、地域に主体的に関わっていける子どもを育てていくことが大切だと思っています。「ふるさと『向陽』を心のよりどころ」として、いつまでも子どもの心に残る教育活動にしていけるよう令和5年も教職員一同、精一杯取り組んで参ります。



- 1日 (日) 元日
- 2日 (月) 振替休日
- 4日 (水) 学校閉庁日
- 9日 (月) 祝 成人の日
- 10日 (火) 始業式 給食開始
- 11日 (水) ぐるブック お話宅急便
集団下校の会 職員会議
- 12日 (木) 委員会活動 学力向上
- 13日 (金) どんど焼き

- 16日 (月) クラブ活動 ALT 安全点検
ベルマークの日
- 18日 (水) 不審者対応避難訓練
校内研修会 読書感想画巡回展
音信川うたあかり準備・清掃活動
- 19日 (木) 参観日 家庭教育学級
複式学級説明会 学校保健安全委員会
音信川うたあかり点灯式
- 23日 (月) 代表委員会 ALT
- 25日 (水) ぐるブック 校内研修会
- 26日 (木) お話会
- 30日 (月) 委員会活動 A L T
- 31日 (火) 仮入学



「将来の夢について話そう」

11月29日(火)、5・6年生は、学校運営協議会の委員さんと「将来の夢について話そう」をテーマに座談会を行いました。自分の考えをしっかりと相手に伝えること、また、人の話を最後まできちんと聞くことは、良好な人間関係を築く上でとても大切なことです。初めての試みでしたが、子どもも大人も真剣に語り合い、子どもたちにとって実りの多い時間となりました。

ぼくは座談会をして、誰かのために何かをしようと思いが話された「仕事が楽しい」をめざして農業をやってみたいと思いました。大人のはいろんなことをしているのだなとあらためて思いました。

夢をかなえるのはとても難しいことだということが分かった。夢を持ち続けるのは大切だけど、生活ができるようにすることも大切だと教えてもらった。ユーチューバーになる夢をかなえたいと思う。ひらめく力や工夫する力をつけたいとも思った。これからも夢を持ち続けたい。

今日の座談会まで職業のことについて決めていなかったけど、将来なりたいたいものが「ぼく」と思いついたので、今はその職業をめざしたいです。自分が思う職業になれるかわからないけど、今は、人にやさしくしたり、勉強をしたりすることが必要だなと思いました。



みんなの意見や考えがまとまってとても話しやすかったです。あと、たくさんの意見が出たし、発表の時に発表者がまとまったことを話してくれていたのいいと思いました。委員さんの話で「仕事をしているとうれしいことがあるから仕事が楽しい。」という話があったので、仕事は楽しいんだなと思いました。仕事が楽しくできるような大人になりたいです。

私が将来の夢を実現するために教えるもらったことは、夢を持ち続けること、人のことを大切にすること、生活ができるようにすることの三つです。私は特に、人のことを大切にしたいと思いました。夢を持ち続けることは、人生の先ばいが大事だと言っていたので覚えておきたいです。

子どもたちがしっかり自分の夢を持ち、その仕事について調べていることにびっくりした。話す中で、お金の必要性も分かって、なりたいたい自分になるためにお金を貯めるという言葉にもびっくりした。家庭でもしっかりこのような時間を設けて親と話してほしい。

自分が子どもの頃には考えられなかったユーチューバーやイラストレーターなど、今のIT情報社会の申し子のみなさんですが、将来の夢で、一攫千金で才能や特技を売りにお金を儲けることもいいが、一人の人間として、社会貢献につながる何かをもってもらいたいと思います。



子どもたちの夢を聞いて、自分たちの小さい頃や自分の子どもの時代との違いに驚いた。5・6年生ではあるが、将来の夢がはっきりと大人の前で伝えられることがすばらしい。

私の子どもの頃は夢がなかったと思います。今は世界が見え、すごい広がりがありますが、余計に難しい時代でもあると思います。子どもたちの夢をこわさないように手助けができたらと思います。

自分のなりたいたい夢に向かって進もうと考えていること、思いをはっきりと言えることはすばらしい。人が話していることときは、しっかりと聞くということは、大人になっても必要なことです。